

な状況なのか。

**A** 庁舎の光熱水費は、左表のとおり。電気使用量は減少しているが単価の高騰から増額している。

庁舎の光熱水費の比較

項 目		19 年度	20 年度
電 気	使用量	179 万6,009kw	179 万3,212kw
	料 金	3,368 万7,869 円	3,664 万3,979 円
上下水道	使用量	1 万5,123m <sup>3</sup>	1 万4,324m <sup>3</sup>
	料 金	712 万1,802 円	671 万717 円
ガ ス	使用量	9 万815m <sup>3</sup>	7 万7,036m <sup>3</sup>
	料 金	611 万8,940 円	606 万1,500 円

**Q** 堀兼幼稚園と奥富幼稚園の跡地はどのように利用されているのか。

**A** 旧奥富幼稚園の利用は、複合施設で介護予防施設「ちやきちやき倶楽部・奥富」、奥富児童保育室、子育てプレイス奥富のほか、地区センター分室として利用している。旧堀兼幼稚園の利用は、子どもから高齢者までが利用できるよう多目的広場と、トイレやベンチ、健康遊具などを設置し、

堀兼ふるさと広場と命名した。

**Q** 交通死亡が非常に多い。事故対策はどうしているのか。

**A** 20年の交通死亡事故は7件・8名で、人身事故が880件・負傷者数は991名で、19年と比べて死亡事故3名増。人身事故は減っているが、今後も警察などと協議し交通事故防止に努めていく。

福 祉

**Q** 保育所の申請状況、入所状況、拡充した定員数は。

**A** 20年度は、19年10月に開園した、あきくさ保育園が通年開園となったことから、公立・民間を合わせた定員数は60名増の1千650名でスタートした。20年度当初の児童数は1千707名、年度末は1千832名となった。待機児童は年度末で155名である。今後も定員数の拡大に向け、民間保育園との連携で施設整備に取り組んでいく。

**Q** 特定健康審査の健診状況は。

**A** 40歳から74歳まで3万601名に対し、1万1千204名が受診。受診率は36.6%、特定健康指導対象者が1千603人、特定保健指導が139人だった。

**Q** 敬老祝金、長寿者家族慰労品等の支給状況は。

**A** 敬老祝金の支給は、80歳832名に1万円、88歳342名に2

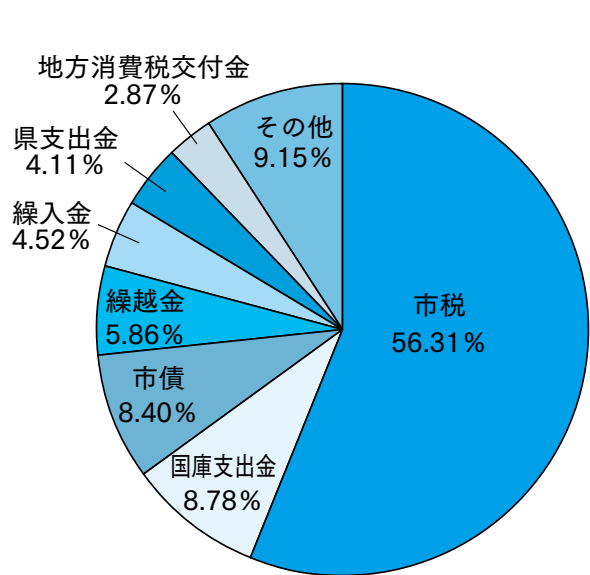
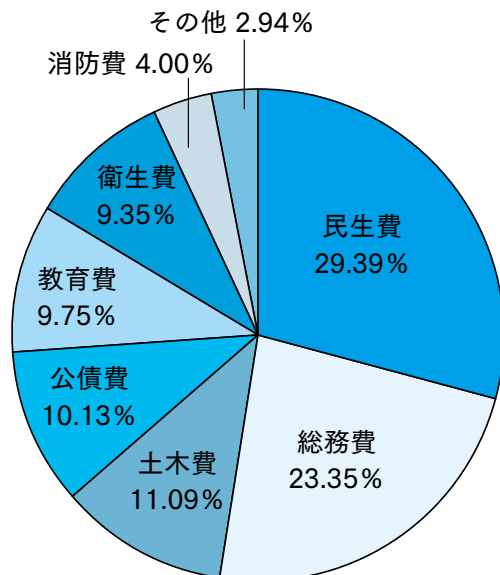
平成20年度 一般会計決算(見込)

歳 出 内 訳

区 別	歳出決算見込額	構成比(%)
民 生 費	128 億 2,262 万円	29.39
総 務 費	101 億 9,024 万円	23.35
土 木 費	48 億 4,038 万円	11.09
公 債 費	44 億 1,877 万円	10.13
教 育 費	42 億 5,451 万円	9.75
衛 生 費	40 億 8,128 万円	9.35
消 防 費	17 億 4,616 万円	4.00
そ の 他	12 億 8,436 万円	2.94
合 計	436 億 3,832 万円	100.00

歳 入 内 訳

区 別	歳入決算見込額	構成比(%)
市 税	262 億 3,756 万円	56.31
国庫支出金	40 億 9,032 万円	8.78
市 債	39 億 1,458 万円	8.40
繰 越 金	27 億 3,089 万円	5.86
繰 入 金	21 億 879 万円	4.52
県 支 出 金	19 億 1,405 万円	4.11
地方消費税交付金	13 億 3,727 万円	2.87
そ の 他	42 億 6,434 万円	9.15
合 計	465 億 9,780 万円	100.00



## 平成20年度一般会計決算は 決算特別委員会で審査

委員長	東山徹夫
副委員長	磯野和夫
委員	新良守
委員	町田昌弘
委員	加賀谷勉
委員	三浦川和也
委員	田村秀二
委員	猪股嘉



消防署の救急フェア

**Q** 青少年の非行実態と対策は、青少年の非行問題対策は、本年度1学期現在、暴力行為が増加



万円、99歳24名に3万円をそれぞれ支給した。長寿者家族慰労品等支給事業は、88歳と99歳の対象者の家族が該当し、266家族であった。

**A** ユースプラザの利用実態は、今後の方針は、20年度1万7千665人が利用、使用料収入は74万1千300円。40歳未満の勤労者以外にも有料で広く開放し、地域

**Q** ユースプラザの利用実態は、今後どうするのか。

### 商工・労働

傾向にある。いじめは減少傾向で推移している。飲酒、喫煙、家出万引き、窃盗、暴力行為、いじめ、性非行などを問題行動と定義している。対策は、青少年を育てる狭山市民会議など関係機関との連携はもとより小・中学校の連携教育を実施、サポートチームなどで対応している。

### 消防

**Q** 救急救命士養成教育負担金の内容は、救急救命士の資格取得者は、

**A** リサイクル率を上げるためには、ごみの分別徹底の精度を上げることが必要。燃やすごみに紙類の資源物が多いことから、今後も分別の徹底をお願いしたい。

**Q** 前年度に比べ、リサイクル率が下がり、数字だけ見ると後退している印象だが、今後はリサイクル率を上げていくためにどうしていくのか。

**A** 救急救命士の養成にかかる費用は一人につき約200万円。救急救命士は現在31名。

### 環境

活動やサークル活動の活性化に寄与していることから、継続して施設運営をしていきたい。

### 教育

**Q** 小・中学校の耐震状況、当該年度の終了数、耐震化率は、

**A** 工事が必要な小・中学校の校舎は19校で、21年3月末現在13校が終了。耐震化率は61.1%。

**◆平成20年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定**

**Q** 老人保健と比べて後期高齢者医療制度の利用者、医療費の状況は、

**A** 19年度末の老人保健の受給者数は1万1千74人、20年度末の後期高齢者医療の被保険者は1万1千849人となっている。医療費は19年度の老人保健総額で約97億7千300万円、20年度は、老人保健での1カ月と後期高齢者医療の11カ月合計で約99億6千700万円となっている。

### 議員提出議案

**◆地方自治の継続性を重視した予算執行を求める意見書の提出について(第13号)6頁に掲載**

提出者 東山 徹 議員



議会だより162号4頁、◆税条例の一部改正で固定資産税の減額措置の適用期間が戸建住宅で10年間にとあるのは5年間にの誤りでした。

### その他の議案

- ◆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(石川 誠氏、平居和佐子氏)
- ◆平成21年度特別会計補正予算(国民健康保険、下水道事業、老人保健、上広瀬土地区画整理事業、狭山市駅東口土地区画整理事業、介護保険、後期高齢者医療)
- ◆市道路線の廃止(2件)
- ◆平成20年度特別会計歳入歳出決算認定(国民健康保険、下水道事業、老人保健、上広瀬土地区画整理事業、狭山市駅東口土地区画整理事業、介護保険)
- ◆平成20年度水道事業会計決算認定

ほか